漁 海 況 情 報

令和8年11月4日　第11号（通巻820号）

山口県水産研究センター 外海研究部　〒759-4106　長門市仙崎2861-3
TEL：0837-26-0711　FAX：0837-26-1042　Mail：a16402@pref.yamaguchi.lg.jp
【海鳴りネットワーク】http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html

2026年度 第1回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

令和8年10月23日に開催された「第125回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁況海況予報会議」の結果（2026年11月～2027年3月における海況・漁況の見通し）をお知らせします。

＊参画機関：水産庁、国立研究開発法人 水産研究・教育機構、(一社)漁業情報サービスセンター、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

＊引 用 元：水産資源研究所ホームページ（https://www.fra.go.jp/shigen/）

【海況の今後の見通し（2026年11月～2027年3月）】

1 海 流

薩南海域における黒潮北縁域は、11 月と 2・3 月に「平均的な位置(屋久島南付近での変動)」もしくは「離岸傾向」となるが、12 月・1 月は「平均的な位置」もしくは「接岸傾向」で経過する。

2 表層水温

山口県沿岸・沖合、対馬東水道、壱岐水道、五島西沖、五島灘、天草西沖、西薩・甑沖、薩南沿岸、薩南沖合、沖縄島周辺海域、大陸棚、黒潮流域では、**「やや高め～かなり高め」で経過する。**

（注）引用符「 」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。
「平年並み」：約2年に1回程度の発生頻度
「やや」　　：約3年に1回程度の発生頻度
「かなり」　：約7年に1回程度の発生頻度
「はなはだ」：約22年に1回程度の発生頻度

【漁況の今後の見通し（2026年11月～2027年3月）】

◎対象海域：**東シナ海**
◎対象漁業：まき網、定置網、棒受網、その他
◎対象魚群：0歳魚（2026年級群（2026年生まれ））、1歳魚（2025年級群）、2歳魚（2024年級群）、3歳魚（2023年級群）。魚の大きさは、マアジ・さば類は尾叉長、いわし類は被鱗体長で表示。

１ マアジ

（1）来遊量

・沖合域は前年並みで、平年を下回る。沿岸域は前年・平年を下回る。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

（3）魚体

・19～24cmの1歳魚（小銘柄）が主に、10～19cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)、24cm以上の2歳魚以上（中･大銘柄）も漁獲される。

２ マサバ

（1）来遊量

・沖合域は前年並みで平年を上回り、沿岸域は前年・平年並み。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

（3）魚体

・25～28cmの 0 歳魚(豆銘柄)および 28～32cmの 1 歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。

３ ゴマサバ

（1）来遊量

・沖合域は前年並みで平年を下回り、沿岸域は前年・平年を下回る。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、東シナ海中部、五島灘・薩南、対馬沖が漁場となる。

（3）魚体

・沖合域では 25～30cmの 0 歳魚（豆銘柄）および 30～33cmの 1 歳魚（小銘柄）が主に漁獲される。沿岸域では 25～40cmの 0 歳魚以上（豆銘柄以上）が主に漁獲される。

４ マイワシ

（1）来遊量

・前年並みで、平年を上回る。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

（3）魚体

・12～17cmの 0 歳魚（小羽・中羽銘柄）主体に、18～23cmの 1 歳魚以上（中羽・大羽銘柄）も漁獲される。

５ ウルメイワシ

（1）来遊量

・前年・平年を下回る。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

（3）魚体

・15～25cmの 0・1 歳魚（中羽・大羽銘柄）が主に漁獲される。

６ カタクチイワシ

（1）来遊量

・前年・平年を下回る。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

（3）魚体

・5～10cmの 0 歳魚（カエリ・小羽・中羽銘柄）が主体で、10cm以上の 1 歳魚（大羽銘柄）が混じる。

（注）「前年」は 2025 年 11 月～2026 年 3 月。「平年」は過去 5 年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。「沖合域」とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。